

受賞者の概要

有機農業・環境保全型農業部門

関東農政局長賞

茨城県常陸大宮市

- 所在地： 茨城県常陸大宮市
- 取組開始： 2022 年
- 耕地面積： 3,150ha（うち、81.42ha※）※有機・環境保全型農業に取組む面積
- 構成員： 12 名
- 主要作物： ジャがいも、にんじん、かんしょ、大根、かぼちゃ、なす等

有機農業に関心を持っておられる市長のリーダーシップにより、就任直後の令和3年度に県内の市町村に先駆けて常陸大宮市有機農業推進計画を策定し、JA 常陸の協力も得て令和4年度より本格的に有機農業の推進を開始した。

国の畑地帯総合整備事業により基盤整備が完了した地区に有機農業モデル団地を設置し、（株）JA 常陸アグリサポートが中心となり、市内学校給食で使用する全てのお米を100%有機米とするため令和5年度から作付けを開始している。

有機農業は農薬散布時の飛散防止や病害虫の蔓延防止に留意して取り組む必要から、有機農業者は病害虫発生の抑制に努める、慣行農業者は農薬散布時の飛散防止に努める等、それぞれの栽培管理の事項を定めた「有機農業を促進するための栽培管理に関する協定」を全国で初めて締結し市長が認可するなど、市の主導により有機農業の面積の大幅な拡大につなげている。

G A P 部門

関東農政局長賞

株式会社井出トマト農園

- 所在地： 神奈川県藤沢市
- 取組開始： 2021 年
- 経営面積： 1.5ha
- 構成員： 50 名
- 主要作物： トマト、中玉トマト、ミニトマト

法人化や規模拡大により売上を向上させてきたが、一方で従業員増加による人件費の増大や栽培管理のミスの発生などが課題となっていた。

こうした状況を改善するため、従業員の働きやすさを重視した独自の営農管理システムを自社開発し、収穫量及び作業量のデータの見える化により生産性の向上と栽培管理の適正化が図られた。

このことがグローバル GAP 認証を取得する下地となり、大手流通小売業者との提携農園契約の締結を契機に認証を取得し、安定した販売価格を実現している。

認証の意義や持続可能な農業の重要性についての定期的な従業員研修の実施、GAP の取組をわかりやすく伝えるためのマニュアルの簡素化や視覚に訴える掲示板の作成などを通じて、従業員の労働安全や衛生への意識が向上している。

関東農政局特別賞

群馬県立勢多農林高等学校

- 所在地： 群馬県前橋市
- 取組開始： 2016 年
- 経営面積： トマト 250 m²、キュウリ 250 m²、日本なし 43a、水稻 160a
- 構 成 員： 115 名
- 主要作物： トマト、キュウリ、日本なし、水稻、豚

学生が卒業後に直ちに農畜産物を安全に作ることができるように、学習カリキュラムに GAP を取り入れ、全国の農業高校で 2 校目（群馬県内の農業高校では初めて）となる AsiaGAP「青果物（トマト、キュウリ、日本なし）、穀物」、JGAP「養豚（家畜・畜産物）」を取得した。

日々の授業や実習で GAP 手法を用いることで、農業を実践する上で重要となる食品としての安全性の確保、環境負荷の低減、労働安全などの意識が自然と身につくようになり、生徒自ら各種作業における危害要因の洗い出しやその対策の検討、GAP 認証審査では生徒が審査員に直接説明するなど、学習効果を高める効果も発揮されている。

また、今後も農業教育の基本に GAP を活用していく考えのもと、全ての部門の教職員が JGAP 指導員の資格を取得し、継続して GAP に取り組んでいく体制を整備している。